



NEW!

2016年4月発売

子どもたちが自ら考え、試し、気づき、学ぶ
音楽づくりの指導の秘密を
臨場感あふれる授業レポートと明快なQ&Aで紹介!

子どももの「何がやってみようか」という気持ち、
それこそが「思いや意図」

——本文より

Q&Aと授業レポートで探る 音楽づくりの言葉がけ 表現意欲と思考を導くために

平野次郎・著

B5判・96頁 定価(本体2000円+税) ISBN978-4-276-32162-5

CONTENTS

序章 私が音楽づくりで大切にしていること

第1章 音楽づくりの授業レポート

- FILE 0 1人ずつ座るゲーム ゲームに宿る音楽づくりの萌芽
- FILE 1 打楽器で1人1音 学習のルールと音を慈しむ心を学ぶ
- FILE 2 手拍子の音楽づくり 絞られた「条件」が引き出すクリエイティビティ
- FILE 3 1音アドリブ ごくシンプルなことからステップを踏んでいこう
- FILE 4 音型の分析 「考えること」「議論すること」を楽しもう!
- FILE 5 I-IV-V-Iの旋律づくり 知識を音楽づくりで身につける
FILE 5の続き 音楽を「完成」させていく子どもたちのドラマ
- FILE 6 役割のある音楽 音楽づくりで「生き方」を学ぶ

第2章 音楽づくりの授業Q&A

- Q1 年間を通して行う みんなが安心して表現できる環境づくり
- Q2 授業時数を有益に使うための横断的な授業時間の使い方・年間計画
- Q3 音楽科の学びは「感じ取って、考える」音を通して考えることも「言語活動」
- Q4 音楽づくりの授業は子どもたちと一緒に作り上げていくもの
- Q5 音楽づくりのモチベーションとは?「思いや意図」とは?
- Q6 子どもたちが自ら考え、必要性を感じる授業のルールと伝え方
- Q7 共通事項・音楽用語は名前よりも本質を感じて学ぶ
- Q8 板書や記譜をする・させる時は目的や意義を忘れないで
- Q9 シンプルな条件設定のねらい 子どもの思考を揺さぶる条件の提示
- Q10 「まとまり・つながり・終わり」を音楽づくりの手がかりに
- Q11 器楽の演奏技能・楽器の特性も気に留めて
- Q12 グループ分けは活動への意欲と成果を大きく左右する
- Q13 「即興表現」「つくり上げる」「完成させる」それぞれの意味と価値
- Q14 子ども表現や思考を中心にした授業をするための教師の視点
- Q15 教師の価値観の押しつけにしない音楽づくりでのアドバイスの在り方
- Q16 グループ活動での個別指導・中間発表の目的、指導のポイント
- Q17 表現を「聴く力」と「まねに対する価値観」を育てる
- Q18 ピンチを成長のチャンスに変えるための言葉がけとサポート
- Q19 みんなが音楽を好きになれる子どもの見方・個性の伸ばし方